

(様式1)

2026年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 063	提案機関名 公益財団法人 相模湾水産振興事業団
要望問題名 腰越漁協地先の砂泥の堆積による磯根資源への影響調査について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 磯根に堆積した大量の砂泥が水産有用種であるアワビ、サザエ、ワカメの再生産に及ぼす影響について調査するとともに、磯根に堆積した砂泥の除去方法の調査研究。 砂の塊がついたサザエのモニタリング調査	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画研究部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	当該漁場における磯根資源の状況について、腰越漁協および鎌倉漁協に聞き取りを実施しました。その結果、サザエ自体の漁獲量が減少し、砂付きサザエは現在ほとんど見られなくなったとのことでした。 また、七里ヶ浜沖の磯根の環境変化については、鎌倉市が開催する腰越漁協や鎌倉市漁協との関係者調整会議に出席し、適宜助言等を行ってまいりました。今後も引き続き当該会議に出席し、助言等を行って参ります。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			